

福祉サービス等第三者評価結果

総括コメント

受診施設名	ゆうかり乳児保育所
施設種別	保育所
評価機関名	社団法人 京都府保育協会

平成19年7月20日

評価が高かった点	<p>I-1 理念・基本方針 I-2 計画の設定 II-2 人材の確保・養成 III-1 利用者本位の福祉サービス</p>
理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理念・基本方針、計画の策定など、法人主導となっています。 ・ 共通した内容、連携で地域に根ざしています。 ・ 人材の確保・養成でも、法人の他施設を有効に活用し、効果的に成果が上げられています。 ・ 利用者本位のサービスでは、家庭的な雰囲気を大切にし、子どもを尊重し、保護者のニーズに応えようとする姿勢です。
改善努力を要する点	<p>II-3 安全管理 II-4 地域との連携 III-2 サービスの質の向上の確保</p>
理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の安全確保は、体制整備が一応されているが、ヒヤリハットの記録で原因分析や対応の検討などの記録が確認できません。 ・ 地域との連携は、市や地域団体との連携を見直す事で、地域ニーズの把握がさらに進みます。 ・ 利用者個々の状況記録の見直し、点検の整理記載が望まれます。
総括コメント	<p>全体的に高く評価できます。 記録面での改善・工夫が必要です。</p>

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【共通評価基準】 【付加基準】

評価結果対比シート

受診施設名	ゆうかり乳児保育所
施設種別	保育所
評価機関名	社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	平成19年2月15日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	① 理念が明文化されている。	A	A
		② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。	① 理念や基本方針が職員に周知されている。	A	A
		② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	B	A
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	非該当	
		② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。 (事業計画についてのみ評価)	A	A
	I-2-(2) 計画が適切に策定されている。	① 計画の策定が組織的に行われている。 (事業計画についてのみ評価)	A	A
		② 計画が職員や利用者等に周知されている。	B	A
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	B	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	B	B
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	B	B

[自由記述欄]

[子どもたちを守る3つの役目]と題し、法人の各児童施設共通の理念・方針として施設内掲示や各種パンフ等に記載され、職員、利用者や地域の子育て家族等に周知を図っています。年間計画も単なる行事計画でなく、職員会議等で前年度の反省や意見に基づき策定、適時検討され、保護者等に説明されています。管理者の役割・責任について、法人全体で人事考課システムを導入され、管理者として自ら見直しを行い、職員会議等において職員の意見を取り込み、保育サービスの質の向上のため現状把握・問題点改善のため指導力を発揮しています。遵守すべき法令の理解及び経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みは法人全体でなされています。今後は、積年にわたり培ってきた乳児保育機能を活かしながら、多機能化を図り、さらなる地域貢献に向けた事業展開を期待します。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	B	A
		② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	非該当	
		③ 外部監査が実施されている。	非該当	
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
		② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	A	A
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A
		② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	A	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	B	A
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	B	A
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	B
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。		A	A	
II-3 安全管理	II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A	A
		② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	A	B
II-4 地域との交流と連携	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	B	B
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	B	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	B	A
		② 関係機関等との連携が適切に行われている。	B	B
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	① 地域の福祉ニーズを把握している。	B	B
② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。		B	B	

【自由記述欄】

管理者は保育所運営についてコスト面や業務の効率と改善に努力されています。人材や体制については、具体的な計画を持って人事考課を法人の他施設と連携して取り組み、個別相談等で個々の職員の気持ちや実情を把握の上、分析・検討・評価しています。得意分野の強化・不得意分野の改善についても、職員の教育に生かされており、必要に応じてカウンセラー等専門家との連携も可能とし、メンタルケアの体制が整っています。また、職員一人一人の研修計画を策定し隣接の児童施設と協調して取り組み成果を上げています。次には、評価・見直し事項の具体的な書面(記録)の整理をするとよいでしょう。安全管理については、マニュアルが整備されリスクマネジメント委員会を設置するなど利用者に対して、事故防止・安全対策に積極的な取り組みがなされています。対応策・未然防止策については検討記録の整理が望まれます。ボランティアの受け入れは、マニュアルが整備され、担当者を配置し、基本姿勢を明確にして積極的に受け入れを行っています。関係機関との連携・地域福祉向上のための取り組みは、乳児保育所の特性により限られた面もあるが「おひさまひろば」等を通じより積極的な活動が望まれます。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	A	A	
		② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A	
	Ⅲ-1-(2) 利用者の満足度の向上に努めている。	① 利用者満足の向上に意図した仕組みを整備している。	B	A	
		② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	B	A	
	Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	B	A	
		② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A	
		③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A	
	Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	B	A
			② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	B	A
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。			B	A	
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	B	B	
		② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	B	B	
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	A	A	
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	B	B	
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	B	B	
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B	B
	② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。		A	A	
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	B	B	
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定	Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。	① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	B	A	
		② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	B	B	
	Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	① サービス実施計画を適切に策定している。	A	A	
		② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	B	A	

【自由記述欄】

利用者の子どもたち一人ひとりを尊重した取り組みが随所に見受けられます。乳児主体の保育所であり、家庭的な雰囲気を大切に、利用者ニーズに応えようとする姿勢があります。また、懇談会・面談・家庭訪問・保護者の保育参加等が行われ、保護者の意向を傾聴し、職員会議等において、保育サービスの質の向上について分析・検討し改善に取り組んでいます。利用者の意見や苦情対応等具体的に文書(記録)化されるとさらなる向上へと繋がるでしょう。

【付加基準】保育所版 評価結果対比シート

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(1) 発達援助の基本	① 保育計画が保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている	B	A
		② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している	B	B
	(2) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	不該当	不該当
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	非該当	
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A

【自由記述欄】

法人の基本理念、基本方針、保育所保育方針に基づいて保育計画が作成され、子どもの育ちを尊重した指導計画が作成されています。指導計画については当月の評価・反省を次月の計画に反映する事が望まれます。
 子ども一人一人の健康状態の把握とその対応も適切に判断し、臨機応変に対応されています。楽しい雰囲気ですぐに食事ができるように優しく声をかけ、また、調理師が食事中に喫食状況を把握する等、調理や献立にも創意工夫がされています。アレルギー疾患を持つ子どもに対しても一人一人の献立を立てる等、細かい配慮がなされています。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(3) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	B	B
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	(4) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	B	A
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	B	B
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	B	B

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	B	B

【自由記述欄】

空間をうまく利用し、子どもが生活する場として、工夫されています。乳児保育所としてみると段差や、高い階段があり、安全面での配慮が望まれます。また、トイレ等利用しやすい工夫が望まれます。
 子どもの発達を踏まえた、保育士の言葉かけ、姿勢、行動等子どもへの関わりについては高く評価します。
 長時間保育については、家庭的な雰囲気重視し、職員間の連携、保護者への伝達も適切に行われています。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	(1)入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
	(2)一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	不該当	不該当
A-3 安全・事故防止	(1)安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	非該当	
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	非該当	
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	非該当	

【自由記述欄】

保護者の子育て相談、育児相談等、個別に積極的に取り組まれており、又情報交換も適宜行われ、その都度情報をペーパー配布するなど、子どもの発達や変化にも、共通理解を得よう心がけています。また、虐待についても、マニュアルを整備し、早期発見に努めています。
 安全事故防止の件については、調理場、水周りの衛生は常に清潔に保たれ、見直しも定期的に行われています。